

リスク診断から再埋入まで

インプラントの
撤去



詳しい
情報は
こちら

インプラント体の破折・アバットメントや
スクリューの緩みや
破折・インプラント周囲炎……。
あなたならどうする？



【監修】細川隆司(九州歯科大学附属病院 口腔インプラント科教授)
【編著】正木千尋(九州歯科大学附属病院 口腔インプラント科准教授)

インプラント治療は欠損補綴の選択肢として一般にも浸透し、定期的なメンテナンスを怠らなければ、機能と審美を長期間維持できる可能性が高くなっています。しかし、長期にわたるメンテナンス時においては、加齢とともに口腔の組織変化や機能低下などによって、インプラント周囲炎に罹患したり、インプラント体、アバットメントやスクリューの破折などのリスクが高まります。そして、当然ながらインプラント体を撤去(除去)して再治療の可能性を考えることとなります。本書では、インプラント体、アバットメントやスクリューの撤去が必要となるトラブルとその判断基準、撤去に必要な器具・器材と具体的な撤去方法や術式を詳細に示しています。また、インプラント体の再埋入の考え方や術式選択のポイントからメンテナンスまで、多くの症例を呈示しながら、わかりやすく解説しています。本書はインプラント治療におけるトラブル対応のバイブルとして必携の書です。

A4判・112頁・オールカラー 本体10,000円+税

CONTENTS

Chapter1 インプラント治療のトラブルと
インプラント体撤去の判断基準

- 01 インプラント治療のトラブル
- 02 インプラント体の撤去が必要となるトラブルと判断基準
- 03 要介護高齢者におけるインプラント体の撤去の判断基準

Chapter2 インプラント体撤去の器材と方法

- 01 インプラント体撤去の各種術式
- 02 アバットメントスクリューの撤去

Chapter3 インプラント体の再埋入とメンテナンス

- 01 インプラント体の再埋入
- 02 メンテナンス

Chapter4 インプラント体の撤去症例集

- 01 Early Failureの症例
- 02 埋入位置が不良の症例
- 03 インプラント周囲炎の症例
- 04 Overloadが疑われる症例
- 05 インプラント体およびスクリュー破折がある症例
- 06 インプラント体の破折症例①
- 07 インプラント体の破折症例②
- 08 インプラント体の破折症例③

Chapter5 インプラント体撤去ツール使用時のポイント

- 01 インプラント体撤去のポイント